

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 8 日現在

機関番号：20101

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2016

課題番号：26461771

研究課題名(和文) 病院内の自殺事故の実態調査および病院管理者と医療者に対する自殺予防教育

研究課題名(英文) Inpatient suicide: situation, preventive measure, and education for medical staff

研究代表者

河西 千秋 (Kawanishi, Chiaki)

札幌医科大学・医学部・教授

研究者番号：50315769

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,800,000円

研究成果の概要(和文)：自殺は、病院における主要重大医療事故の一つである。報告者らは、自殺事故予防対策を策定することを目的に、全国の病院を対象に病院内の自殺事故と事後対応の詳細を調査した。その結果、精神科病床の無い1432の一般病院の19%で107件、精神科病床を有する63の一般病院の67%で74件、そして63の精神科病院の79%で81件の入院患者の自殺事故が2012 - 15年の3年間に生じていたことが分かった。精神科病床以外の病棟での自殺事故の50%を癌患者が占めていたことも分かった。また、事故発生直後の医療者当事者に対する専門的なケアの不足の実状が明らかとなり、各種トラブルなどの実状も明らかとなった。

研究成果の概要(英文)：Suicide is a common severe accident in hospitals. We aimed to examine the situation of inpatients suicide and post-suicide in Japanese hospitals. We conducted a questionnaire survey and analyzed according to the category of hospitals, such as general hospitals with and without a psychiatric ward, and psychiatric hospitals. As a result, 529 responded the survey (response rate: 38.4%). One hundred and seven suicides occurred in 83/432 general hospitals without psychiatric ward during April 2012-March 2015. Seventy-four suicides occurred in 42/63 general hospitals with psychiatric ward. And eighty-one suicides occurred in 27/34 psychiatric hospitals. Fifty percent of all suicides were of cancer patients out of psychiatric settings in general hospitals. Our study also found the lack of care for medical staff in charge of patients who died by suicide. The hospitals and personnel experienced various kinds of problem on suicide occurrence.

研究分野：精神医学

キーワード：自殺予防 重大医療事故 医療安全 メンタルヘルス 教育 悲嘆ケア 多職種チーム がん

1. 研究開始当初の背景

わが国の自殺率は、先進国中最悪の水準が持続しており、公衆衛生上の最大課題の一つとなっている。「慢性/進行性の身体疾患に罹患」、あるいは「疾病による身体機能の喪失」は自殺の危険因子であることが知られており、報告者らは、すでに一般病院に入院中の患者に多数の自殺が生じていることを明らかにしているが、さらに報告者らは、日本医療機能評価機構認定病院患者安全推進協議会(以後、協議会)と協働で病院内の自殺事故を防止するための包括的な研修プログラム(「院内自殺の予防と事後対応のための研修会」; 対象は医療者)を開発、実施している。

2. 研究の目的

本研究では、報告者らが過去に実施した病院内の自殺事故実態調査から10年が経過するのを機に、現在の入院患者の自殺事故と事故後対応の実態を明らかにすることを目的とした。また、前述の研修プログラムの有効性を検証することを目的とした。

3. 研究の方法

協議会に属する1376病院を対象に質問紙調査を行った。調査項目は、1)2012年から2015年間の3か年間における自殺事故の発生数、2)手段、3)場所、4)時間帯、5)直前の出来事と予兆、6)疾病種別、7)精神科受診歴、8)予防対策の有無と種別、9)事故後の医療スタッフ・ケア、10)事故に伴うトラブルの有無と種別であった。回収されたデータを集計し、1)精神科病床のない一般病院、2)精神科病床を有する一般病院、そして3)精神科病院の3つのカテゴリ毎に解析・比較した。

また、「院内自殺の予防と事後対応のための研修会」の受講者を対象に、質問紙法により、受講前後の自殺予防対策に関する知識・技術・負担感の変化を測定した。

4. 研究成果

自殺事故の実態調査については、529病院(38%)から回答が得られ、432の「精神科病床のない一般病院」の19%で107の、63の「精神科病床を有する一般病院」の67%で74件の、そして34の「精神科病院」の79%で81件の自殺事故が、3年間で生じていたことが明らかとなった。一般病院の自殺事故のうち36%ががん患者によるもので、精神科病床以外で生じた自殺事故の50%ががん患者であった。精神科病床での自殺事故では統合失調症患者が最多であった。

自殺企図手段は、3つの病院カテゴリのすべてで縊首、高所からの飛び降りの順で頻度が高かった。自殺事故の場所は、一般病院では病棟内での自殺事故が半数以上を占め、精神科病院では半数以上が病院敷地外であった。自殺事故直前の出来事については、一般病院の全回答数のうち、身体症状の悪化・不安定化を認めた事例が約4割に上った。「精神科病床のある一般病院」では、精神症状の悪化・不安定化を約4割に認め、自殺企図・自傷行為の既往を約3割に認めた。「精神科病院」では、精神症状の悪化・不安定化を約3割に認め、自殺企図・自傷行為の既往を約5割に認めた。全ての群において2割以上が、明確な自殺願望や可能性を口にしていた。

直前の精神科受診歴は、「精神科病床のない一般病院」では、16%に留まっていた。「精神科病床のある一般病院」でも、一般病棟で自殺した患者については、その8%しか精神科受診をしていなかった。

「精神科病床のない一般病院」は、平素からの自殺予防対策の実施率も低く(53%)「施設の整備」以外の対策割合は著しく低値を示し、自殺事故予防対策に関する講習会や勉強会を開催した病院は1割程度であった。

事故の当事者となった医療スタッフに対して、すべての病院群の64-74%で何らかのメンタルヘルス・ケアが行われていたが、そ

の内容は、多くが非特異的、非専門的なものであった。他に、「精神科病床のある一般病院」と「精神科病院」では、1割強の病院が何らかのトラブルを経験しており、当事者となった医療スタッフのケアのタイミング、方法の問題、十分なケアが実施できなかったこと、実際に不調者が生じたこと、休職者が生じたことなどが数多く報告された。

「院内自殺の予防と事後対応のための研修会」の効果検証に関する研究については、358名(男性82名、女性276名;回答率100%)の参加者から回答が得られ、研修により知識が向上したとするものが約90.8%、そして対応技術が向上したとするものが約82.1%、そして自殺関連行動への対応の際のストレスが減じたとするものが約61.7%だった。

<引用文献>

1. 岩下覚, 南良武, 河西千秋: 精神科領域における医療安全管理の検討その1: 病院内における自殺に関するアンケート. 患者安全推進ジャーナル, 2006; 13: 64-69
2. Kawanishi C, Iwashita S, Sugiyama N, Kawai M, Minami Y, Ohmichi H: Proposals for suicide prevention in general hospitals. Psychiatry Clin Neurosci, 2007; 61: 704.
3. 河西千秋: 病院内の自殺事故(監修: 河西千秋, 橋本迪生他), 病院内の自殺対策のすすめ方(患者安全推進ジャーナル別冊), 認定病院患者安全推進協議会, 2011: 6-7
4. 河西千秋: 院内自殺対策の現状と「院内自殺の予防と事後対応のための研修会」活動 患者安全推進ジャーナル, 2013; 32: 52-56
5. Inoue K, Kawanishi C, Otsuka K, Cho Y, Shiraishi M, Ishii T, Onishi H, Hirayasu Y: A large scale survey of inpatient suicides: comparison between medical and psychiatric settings. Psychiatry Research, 2017; 250: 155-158
6. 河西千秋, 井上佳祐, 大塚耕太郎, 大西秀樹, 加藤大慈, 杉山直也, 張賢徳, 花井恵

子, 稗田里香, 竜トシ子: 病院内の入院患者の自殺事故調査. 患者安全推進ジャーナル, 2017; 45: 83 - 91

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計27件)

- 1) Inoue K, Kawanishi C, Otsuka K, Cho Y, Shiraishi M, Ishii T, Onishi H, Hirayasu Y: A large scale survey of inpatient suicides: comparison between medical and psychiatric settings. Psychiatry Research, 2017; 250: 155-158 (査読有)
doi: 10.1016/j.psychres.2017.01.0761.076
- 2) 河西千秋, 井上佳祐, 大塚耕太郎, 大西秀樹, 加藤大慈, 杉山直也, 張賢徳, 花井恵子, 稗田里香, 竜トシ子: 病院内の入院患者の自殺事故調査. 患者安全推進ジャーナル, 2016; 45: 83 - 91 (査読無)
- 3) 白石将毅, 石井貴男, 井上佳祐, 木川昌康, 河西千秋: 自殺行動障害, 臨床精神医学, 2016; 45: 315 - 318 (査読無)
- 4) 河西千秋: 自殺企図者への対応. 心身医学, 2016; 56: 801 - 805 (査読無)
doi: 10.15064/jjpm.56.8_801
- 5) Inagaki M, Kawashima Y, Kawanishi C, Yonemoto N, Sugimoto T, Furuno T, Ikeshita K, Etoh N, Tachikawa H, Shiraishi Y, Yamada M: Interventions to repeat suicidal behavior in patients admitted to an emergency department for a suicide attempt: a systematic review and meta-analysis. J Affect Disorder, 2015; 175: 66-78 (査読有)
doi: 10.1016/j.jad.2014.12.048
- 6) 河西千秋, 井上佳祐: 特殊な病態への対応: 自殺企図・自殺念慮. 内科, 2015; 115: 253-257 (査読無)
- 7) Kawanishi C, Aruga T, Ishizuka N, Yonemoto N, Otsuka K, Kamijo Y, Okubo Y, Ikeshita K, Sakai A, Miyaoka H, Hitomi Y, Iwakuma A, Kinoshita T, Akiyoshi J, Horikawa

N, Hirotsune H, Eto N, Iwata N, Kohno M, Iwanami A, Mimura M, Asada T, Hirayasu Y: Assertive case management versus enhanced usual care for people with mental health problems who had attempted suicide and were admitted to hospital emergency department in Japan (ACTION-J): a multicentre, randomised controlled trial. *Lancet Psychiatry*, 2014; 1: 193-201 (査読有)

doi: 10.1016/S2215-0366(14)70259-7

8) Kishi Y, Otsuka K, Akiyama K, Yamada T, Sakamoto Y, Yanagisawa Y, Morimura H, Kawanishi C, Higashioka H, Miyake Y, Thurber S: Effects of a training workshop on suicide prevention among emergency room nurses. *Crisis*, 2014; 35: 357-361 (査読有)
doi: 10.1027/0227-5910/a000268

9) 大山寧寧, 河西千秋, 平安良雄: 医学教育における精神医学の知識習得と精神障害者に対する態度との関連. *精神医学*, 2014; 56: 293-298 (査読有)

10) 大塚耕太郎, 河西千秋: 日本精神神経学会が自殺対策に果たすべき役割とは: 自殺対策への精神医学関連学会の取り組み精神科医療における自殺対策の推進. *精神神経誌*, 2014; 116: 677-682 (査読有)

[学会発表] (計 24 件)

1) 井上佳祐, 大塚耕太郎, 張賢徳, 石井貴男, 平安良雄, 河西千秋: 入院中に自殺既遂した統合失調症患者の特徴. 第 12 回日本統合失調症学会, 米子コンベンションセンター (鳥取県米子市), 2017, 3 月 25 日

2) Kawanishi C (教育講演): Suicide prevention for suicide attempters: outcomes of ACTION-J and the process to make it a suicide prevention policy. 7th. Asia Pacific Regional Conference of the International Association for Suicide Prevention, 東京コンベンションホール (東京都中央区), 2016, 5 月 18 日

3) 河西千秋 (シンポジスト): 医療と自殺予防: ハイリスク者の自殺予防. 第 40 回日本自殺予防学会, 東京コンベンションホール (東京都中央区), 2016, 5 月 21 日

4) 河西千秋 (教育講演): 入院患者の自殺予防と事後対応, スタッフ・ケア. 第 5 回日本精神科医学会, 仙台国際センター (宮城県仙台市), 2016, 11 月 17 日

5) 河西千秋 (シンポジスト): 入院患者の自殺事故後の対応とスタッフ・ケア. 第 29 回サイコオンコロジー学会, 札幌コンベンションセンター (北海道札幌市), 2016, 9 月 23 日

6) Kawanishi C (シンポジウム): Effectiveness of an assertive case management intervention for suicide attempters who were admitted to emergency departments (Action-J). 27th. World Congress of the International Association for Suicide Prevention, Montreal, Canada, 2015, 6 月 19 日

7) Kawanishi C (講演): Care for suicide attempters in Japan: outcomes of the ACTION-J and the process to make it a suicide prevention policy. WHO World Suicide Report regional launch event, 国立精神・神経医療研究センター (東京都小平市), 2015, 12 月 2 日

8) 河西千秋 (教育講演): 総合病院が自殺予防に果たす役割. 第 28 回日本総合病院精神医学会, あわぎんホール (徳島県徳島市), 2015, 11 月 28 日

9) Kawanishi C, Otsuka K (シンポジスト): General hospital suicide in Japan: situation and preventive measure. 15th European Symposium on Suicide and Suicidal Behaviour, Tallinn, Estonia, 2014, 8 月 28 日

10) Inoue K, Kawanishi C, Otsuka K, Kato D, Hashimoto M: The effectiveness of the training course for prevention and postvention for hospital suicide. 15th European Symposium on Suicide and Suicidal Behaviour, Tallinn, Estonia, 2014, 8 月 28 日

1 1) 河西千秋 (教育講演): 入院患者の自殺予防と事後対応 . 第 28 回東京精神科病院協会学会 , 京王プラザホテル (東京都新宿区), 2014 , 10 月 28 日

1 2) 河西千秋 (シンポジスト): 入院患者の自殺予防とスタッフ・ケア . 第 27 回日本サイコオンコロジー学会 , タワーホール船堀 (東京都江戸川区), 2014 , 10 月 4 日

〔 図書 〕 (計 6 件)

1 . 河西千秋 : 自殺 (監修 : 上島国利 , 立山萬里 , 三村將), 精神医学テキスト (改訂第 4 版): 精神障害の理解と治療のために . 南江堂 , 335-340 , 2017

2 . 河西千秋 : 自殺の予防 (監修 : 福井次矢 , 高木誠他), 今日の治療指針 : 私はこう治療している . 医学書院 , 1019-1020 , 2017

3 . 井上佳祐 , 白石将毅 , 河西千秋 : 統合失調症と自殺 , 別冊日本臨床 , 新領域別症候群シリーズ , 精神医学症候群 (第 2 版) , 日本臨床社 , 326-329 , 2017

〔 産業財産権 〕

出願状況 (計 0 件)

取得状況 (計 0 件)

〔 その他 〕

ホームページ等 : なし

6 . 研究組織

(1) 研究代表者

河西千秋 (KAWANISHI , Chiaki)

札幌医科大学・医学部・教授

研究者番号 : 50315769

(2) 研究分担者

大塚耕太郎 (OTSUKA , Kotaro)

岩手医科大学・医学部・教授

研究者番号 : 00337156

(3) 連携研究者

なし

(4) 研究協力者

井上佳祐 (INOUE , Keisuke)